

桜御門落成式典の協賛行事について（案）

桜御門の復元は、高松市にとって焼失以来 75 年ぶりの慶事であり、玉藻公園（高松城）が久々に注目されることになりそうです。この機会に、祝賀行事を大きく盛り上げることが、天守復元にとっても非常に重要な過程になることが想定されます。なぜなら、文化庁は、常に高松市民の民意を尺度として方針を決定してきているからです。その意味からも、以下の協賛行事を本会が成功させ、情報発信されることによって、天守復元を期待する声があちこちから沸き起こるよう、総力を挙げて取り組みます。

記

- 1、日 時 : 7月16日(土) 午前9時～高松市主催の式典・2階展示施設見学会(何回かに分ける)
本会の公演～10時からと11時からの2回
- 2、場 所 : 市の式典は桜御門南側。鉄砲隊で開門 → 庵治締太鼓で歓迎
本会の公演は、披雲閣「大書院」
- 3、内 容 : 市の式典・・・略
本会の公演・・・司会進行 木村美加(高松大)
開会あいさつ・・・古川理事長
(1) 桜御門復元祝い唄 5～6分
・・・龍雲相撲甚句会

(2) 「高松城」の歌と踊り 5～6分
歌・・・成世昌平(クラウンレコード)のCD
踊り・・・美智景会 北岡美智子

(3) 端唄「十二万石」 5～6分
踊り・・・藤間勘雅智枝会 藤間勘雅智枝

(4) 御殿女中による「一合まいた」 10分程度
踊り・・・わだもん 寒川かおり他 約10名

※来場者には紅白のお餅を配る。(200個用意)

※コロナ感染対策

- ① 受付で検温、マスク着用。来場者には氏名と電話番号を記載してもらう。
- ② 来場者は、間隔をとるため100人限定とする。また、窓は全開。